

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年8月5日(2021.8.5)

【公開番号】特開2019-155161(P2019-155161A)

【公開日】令和1年9月19日(2019.9.19)

【年通号数】公開・登録公報2019-038

【出願番号】特願2019-118832(P2019-118832)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年6月21日(2021.6.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

操作機会が付与される受付許容状態を発生させるとともに、該受付許容状態で操作受付がなされると受付後変化を実行可能な受付後変化実行手段と

を備え、

前記受付許容状態では、遊技者による操作の対象を摸した摸画像が表示されうる遊技機であって、

前記受付許容状態には、

チャンネルに割り当てられた演出音の音データが非抑制態様で可聴出力されているなかで操作機会を付与する非抑制許容状態、及び

チャンネルに割り当てられた演出音の音データが抑制態様で可聴出力されているなかで、または該演出音の音データが非可聴の状態にされてから操作機会を付与する抑制許容状態

が含まれており、

前記非抑制許容状態と前記抑制許容状態とのいずれにおいても、その発生に際しては、操作受付が許容される状態になったこと、または操作受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音の音データがチャンネルに割り当てられて非抑制態様で可聴出力されうるようになっており、

前記非抑制許容状態と前記抑制許容状態とでは、前記受付後変化として異なる変化が実行されうるようになっており、

さらに、

前記摸画像を表示するときの態様として第1態様及び第2態様が少なくとも用意されており、

遊技者に対して操作機会が付与されているときに前記摸画像が前記第1態様で表示されている場合は、前記受付許容状態として、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせる受付許容状態が必ず発生している状況下にあり、

遊技者に対して操作機会が付与されているときに前記摸画像が前記第2態様で表示され

ている場合は、前記受付許容状態として、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせる受付許容状態が発生している状況下にある場合と、遊技者による操作がないときに操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせない受付許容状態が発生している状況下にある場合との両方があるようになっており、

さらに、

前記受付許容状態の発生に際して、前記受付許容音は、所定態様及び特別態様を含む複数態様のいずれかで可聴出力されうるようになっており、

前記受付許容音が前記特別態様で可聴出力される場合は、該特別態様に対応する前記受付許容状態は、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせる受付許容状態として必ず発生するが、

前記受付許容音が前記所定態様で可聴出力される場合は、該所定態様に対応する前記受付許容状態は、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせる受付許容状態として発生する場合と、遊技者による操作がないときに操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせない受付許容状態として発生する場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段1：判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

操作機會が付与される受付許容状態を発生させるとともに、該受付許容状態で操作受付がなされると受付後変化を実行可能な受付後変化実行手段と

を備え、

前記受付許容状態では、遊技者による操作の対象を摸した摸画像が表示されうる遊技機であって、

前記受付許容状態には、

チャンネルに割り当てられた演出音の音データが非抑制態様で可聴出力されているなかで操作機會を付与する非抑制許容状態、及び

チャンネルに割り当てられた演出音の音データが抑制態様で可聴出力されているなかで、または該演出音の音データが非可聴の状態にされてから操作機會を付与する抑制許容状態

が含まれてあり、

前記非抑制許容状態と前記抑制許容状態とのいずれにおいても、その発生に際しては、操作受付が許容される状態になったこと、または操作受付が許容される状態になることを示唆する受付許容音の音データがチャンネルに割り当てられて非抑制態様で可聴出力されうるようになっており、

前記非抑制許容状態と前記抑制許容状態とでは、前記受付後変化として異なる変化が実行されうるようになっており、

さらに、

前記摸画像を表示するときの態様として第1態様及び第2態様が少なくとも用意されており、

遊技者に対して操作機會が付与されているときに前記摸画像が前記第1態様で表示されている場合は、前記受付許容状態として、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせる受付許容状態が必ず発生している状況下にあり、

遊技者に対して操作機會が付与されているときに前記摸画像が前記第2態様で表示され

ている場合は、前記受付許容状態として、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせる受付許容状態が発生している状況下にある場合と、遊技者による操作がないときに操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせない受付許容状態が発生している状況下にある場合との両方があるようになっており、

さらに、

前記受付許容状態の発生に際して、前記受付許容音は、所定態様及び特別態様を含む複数態様のいずれかで可聴出力されうるようになっており、

前記受付許容音が前記特別態様で可聴出力される場合は、該特別態様に対応する前記受付許容状態は、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせる受付許容状態として必ず発生するが、

前記受付許容音が前記所定態様で可聴出力される場合は、該所定態様に対応する前記受付許容状態は、遊技者による操作がなくても操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせる受付許容状態として発生する場合と、遊技者による操作がないときに操作受付があったときと同じ受付後変化を生じさせない受付許容状態として発生する場合との両方がある

ことを特徴とする遊技機。